

平成 30 年 8 月 1 日
 鹿児島地方気象台

九州南部・奄美地方の7月の気候統計値

前線や台風、湿った空気の影響で降水量は多かった。特に上旬は前線の活動が活発となり、九州南部では降水量がかなり多かった。

上旬：高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、台風第7号や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。2日から3日にかけては台風第7号の影響で大雨や荒れた天気となった所があり、5日から8日にかけては九州付近に前線が停滞して活動が活発となったため、九州南部では大雨となりました。
中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、20日は湿った空気の影響で曇りや雨となりました。なお、九州南部は11日ごろに梅雨明けしたと見られます。
下旬：高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、期間のはじめと終わりに台風第10号や台風第12号の影響で雨となった日があり、大雨や荒れた天気となった所がありました。

平均気温：油津、名瀬、沖永良部で「低い」となったほかは、「平年並」か「高い」となりました。

降水量：屋久島で「平年並」となったほかは、「多い」となりました。

日照時間：枕崎で「多い」となったほかは、「平年並」か「少ない」となり、名瀬では「かなり少ない」となりました。

2018年7月の気候表

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級	
	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)
宮崎県							
宮崎	27.5	(+0.2)	579.5	(187)	+	16	203.5 (99)
延岡	26.9	(+0.8)	476.5	(180)	+	13	180.7 (93)
都城	27.3	(+0.8)	601.5	(162)	+	16	159.4 (90)
油津	26.9	(-0.3)	477.0	(178)	+	14	178.1 (90)
鹿児島県							
鹿児島	28.6	(+0.5)	436.5	(137)	+	14	200.6 (105)
阿久根	27.1	(+0.7)	577.0	(176)	+	9	216.5 (105)
枕崎	27.6	(+0.7)	337.0	(123)	+	14	235.0 (112)
屋久島	27.0	(+0.1)	384.0	(123)		14	179.6 (81)
種子島	27.4	(0.0)	236.5	(109)	+	15	190.5 (83)
名瀬	28.1	(-0.6)	341.5	(169)	+	10	151.9 (72)
沖永良部	27.8	(-0.6)	257.5	(218)	+	9	271.0 (98)

(注意)・「階級」の欄の符号は、+ :高い(多い) - :低い(少ない)を示す。また、階級が「高い(多い)」「低い(少ない)」となった地点のうち、1981~2010年の中で、高い(多い)方または低い(少ない)方から10%に入る極端な値である場合には、階級の「+-」に*を付加した。この場合には +* :かなり高い(多い) -* :かなり低い(少ない)と表現できる。
 ・値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが] 付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

2018年7月の気候統計値に3位以内の順位更新はありませんでした。

問合せ先：鹿児島地方気象台 季節予報担当

電話 099-250-9912

FAX 099-255-4234